

登録医ニュース

## メタセコイア

第40号  
2017.4

編集・発行/東北医科薬科大学病院 医療連携センター

〒983-8512 宮城県仙台市宮城野区福室1丁目12番1号 Tel(022)259-1221(代表)  
Tel(022)388-9593(医療連携センター直通) Fax(0120)25-9121(医療連携センター直通)  
Eメールrenkei@hosp.tohoku-mpu.ac.jp ホームページhttp://www.hosp.tohoku-mpu.ac.jp

## 東北医科薬科大学病院 開院2年目を迎えて

たばた としはる  
東北医科薬科大学病院 副院長 呼吸器外科科長 田畑 俊治

未曾有の大震災から6年、政府の震災復興事業策の目玉として仙台市宮城野区福室の地に東北医科薬科大学病院が開院して1年が過ぎました。おかげさまで、昨年10月に本開設された救急センターの稼働状況も良好であり、順調な船出となりました。これもひとえに地域の皆様、登録医の皆様のご支援を賜りました結果と感謝申し上げます。

思い起こせば当院は仙台市内にある病院群の中で一番震源地に近かったため、病院建物に甚大な構造損傷を来し震災後半年間にわたり使用可能な病床数が250床程度に制限されてしまいました。

その結果、被災した地域住民が医療サポートを最も必要とした時期に十分な貢献ができず、職員一同悔しい思いをしました。また病院の前途を悲観して退職していく職員も数多く見受けられました。

こうした中、昨年4月、東北医科薬科大学病院として生まれ変わり、震災で荒廃した東北の地域医療を再興する医療人の創出を行うミッションを国から任せられ、日本全国からこのミッションに賛同する人材が続々と集まってきました。

現在、大学医学部の教育研究棟が病院に隣接する形で2棟建設中であり、先月19日には150床の新病院棟建設の安全祈願祭を、震災当日300人以上の被災住民が押寄せ、頻回の余震に怯え、肩を寄せ合いながら一晩過ごしたりハビリテーション訓練棟の解体跡地で無事に執り行われました。

この新病院棟は平成31年4月に開院し現有病床と併せて616床に増床され、新放射線治療室、新手術室、新カテテル室、新ICU病棟、レディース病棟が配置され、高度な医療機器も続々と導入されていく計画です。

このような進化し続ける風景は、病院職員の士気をあげるだけでなく当院で提供される医療サービスの向上につながります。例えば、平成29年4月から泌尿器科医が5名着任し、前立腺癌や腎臓癌に対し侵襲の少ないダヴィンチ手術（ロボット支援手術）を開始します。また、同時期に乳腺外科医、肝胆膵外科医、食道外科医、肝胆膵内科医、腫瘍内科医、血液内科医が着任し、平成30年4月には脳神経外科医が最後に赴任し、質量共にあらゆる疾患のニーズに対応できる布陣となります。

最後に、病院が新築され、多数の高度な医療機器が導入されても病んでいる患者さんに優しく寄り添うことができるのは人であることを忘れずに地域医療に携わって行くことをお約束いたしまして年度始めのご挨拶とさせていただきます。



# 各科紹介

今月号から新しく赴任いたします医師を紹介いたします。  
まずは乳腺内分泌外科と神経内科をご紹介します。  
予約の際は連携課までご連絡下さい。



## 乳腺内分泌外科

教授 <sup>すずき</sup>鈴木 <sup>あきひこ</sup>昭彦



平成 29 年 4 月から乳腺内分泌外科教授として着任しました鈴木昭彦です。  
紙面をお借りし、乳腺外科の紹介をさせていただきます。

最近、乳がん関連のニュースを耳にすることが増えたと感じている方は多いのではないのでしょうか。有名人、芸能人などが SNS などを通じて情報発信することもあり、乳がんは他人事ではないと認識され始めています。

乳がんは日本人女性の罹患するがんの中ではもっとも罹患率が高く、最近の統計では日本人女性の 11 人に 1 人が乳がん罹患すると推定されています。

しかしながら増え続ける乳がん患者さんに対して乳腺疾患の専門医はまだまだ充足しているとは言えず、特に東北地方では全く足りていないのが現状です。当院では平成 27 年 4 月 1 日より乳腺外科を開設し、乳がんを中心とした乳房疾患に対する診療・治療を行ってまいりましたが、今回専門医 2 名の体制に拡充しますのでより多くの患者さんに良い乳腺医療を提供できるよう努力してゆく所存です。

地域医療における当院乳腺外科の役割は、専門性の高い乳腺医療を提供することであると考えます。乳がん検診の普及により所見は見えても確定診断することが難しい早期がんの診断・治療、整容性に配慮した温存手術、積極的な化学療法による治療成績の改善などが大学病院の使命であり、放射線治療を含めた集学的治療を推進してまいります。一方で、日常的な検診や、ガイドラインに沿った医療の普及などでは、地域の医療機関との連携を深め、患者さんの状態やニーズに合わせてお互いが紹介し合える体制づくりも重要であると考えております。

仙台市には東北大学病院という大きな核となる病院がありますが、今回新しく誕生した東北医科薬科大学病院の乳腺内分泌外科が、地域の乳腺医療や人材育成の面でも第二の核となれるよう、頑張っ  
てまいりますのでよろしくお願い申し上げます。

## オープンゴルフコンペ 開催のお知らせ

今年もゴルフコンペを下記のとおり開催いたします。

5 月はなんといってもゴルフに最高の季節です。この機会により一層の親睦を深めたいと思いますので多くの皆様のご参加をお待ちしております。

参加希望の先生は恐れ入りますが連携課までご連絡下さい。

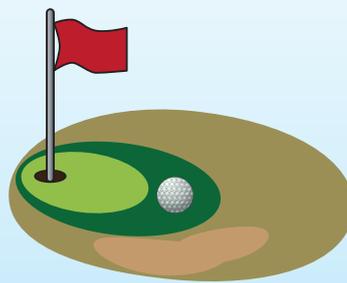
日 時 平成 29 年 5 月 28 日(日) 9:00 集合 9:15 スタート

場 所 花の杜ゴルフクラブ  
黒川郡大衡村大瓜字中山 45-92

会 費 ¥5,000 円 (プレー代 約 17,000 円昼食込) 自己負担

定 員 約 40 名

連絡先 電話 022-388-9593 (連携課直通)



## 神経内科

なかしま いちろう  
教授 中島 一郎



東北医科薬科大学病院神経内科は、昭和 57 年 10 月の旧東北厚生年金病院新設と同時に設置され、その後現在まで約 35 年間仙塩地域の神経内科診療を担ってまいりました。

対象疾患は、脳梗塞や脳炎などの緊急性の高い急性疾患から、パーキンソン病や多発性硬化症などの神経難病、片頭痛やてんかんなどの比較的頻度の高い疾患まで、幅広く対応しております。

新患で訪れる患者さんの主訴としては、頭痛、めまい、ふらつき、しびれ、脱力、ふるえなどが多く、これらの中から治療可能な疾患を見出して参ります。

ひとつひとつの訴えに対して適切な診断と治療を心がけ、場合によっては診断後の療養環境整備の支援や公的支援受給のための手続きの指南を行います。神経難病は従来治療法がなく、対症療法のみで経過を診る疾患ばかりでしたが、医学の進歩により病態が明らかになり、治療法も確立されつつあるものも徐々に増えて参りました。

特に多発性硬化症や重症筋無力症、慢性炎症性脱髄性多発神経炎などの免疫性神経疾患は治療法の確立により以前より劇的に長期予後が改善しています。当院では積極的に神経難病に対する臨床試験（治験）を導入し、神経難病の治療法の開発に貢献できればと思っております。

急性期を脱した患者さんや、難病の診断が確定して治療方針が定まり、病勢が安定した患者さんは極力紹介元にお返しし、病診連携を図りながらひとりでも多くの患者さんのお役に立てるように努力していく所存です。

今後とも、神経疾患が疑われる患者さんを積極的にご紹介いただきますようお願い申し上げます。

## 連携課からのお知らせ

### 『地域連携のつどい』開催のお知らせ

今年も地域連携のつどいを開催いたしますので先生方には多くの参加をお待ちしております。先に郵送にて御案内状は送付しておりますが、【診療科紹介】の詳しい内容をお知らせいたします。

今まで以上に診療体制を強化いたしますので先生方には一層のご支援をいただきたくお願い申し上げます。

日時：平成 29 年 5 月 12 日(金) 19:00~21:30

場所：ホテルメトロポリタン仙台 4 階「千代」

### 診療科紹介

- 消化器内科：佐藤賢一教授
- 呼吸器内科：大類孝教授
- 神経内科：中島一郎教授
- 乳腺内分泌外科：鈴木昭彦教授
- リハビリ科：伊藤修教授
- 腫瘍内科：下平秀樹教授
- 小児科：小川英伸教授
- 泌尿器科：佐藤信教授
- 麻酔科：河野達郎教授
- 食道外科（新規に赴任した 2 名の先生方を紹介します）他



# 外来診療担当一覧表

平成29年4月3日現在



東北医科薬科大学病院

電話 022-259-1221(代表)

電話 022-388-9593(医療連携センター直通)

FAX 0120-25-9121(医療連携センター直通 FAX)

階	診療科	月	火	水	木	金	
1F	消化器内科	診察室④	新患 佐藤賢一	新患 米地真	新患 佐藤賢一	新患 目黒敬義	新患 目黒敬義
		診察室⑤	新患 廣田衛久	新患 近藤史帆	新患 近藤遠藤	新患 遠藤克哉	新患 廣田衛久
		診察室⑥	再来 小暮高之	再来 目黒史敬	再来 小暮高之	再来 廣田衛久	再来 佐藤賢一
		診察室⑦	再来 近藤史帆	新患 遠藤克哉		再来 米地真	再来 小暮高之
	外科	新患 診察室①	岩指元一	柴田和	向田和明	小川仁香	中野孝明
		再来 診察室②	木村俊一	向田和	岩指元一	児山香	荒木孝明
		再来 診察室③			中野徹	武山大輔	小川仁
	がん治療支援科(緩和科)	診察室④		児山香	児山香		
	乳腺外来・	新患 診察室⑥	鈴木昭彦	朴英進	朴英進	朴英進	鈴木昭彦
	内分泌科	再来 診察室⑦	朴英進	朴英進	鈴木昭彦	鈴木昭彦	
	呼吸器内科	診察室②	海老名雅	海老名雅	小林隆夫	海老名雅	大類孝
		診察室①	海老名雅	海老名雅	小林隆夫	海老名雅	阿部達也
	呼吸器内科	新患・午後 診察室②				海老名雅	
	感染症内科	診察室①	関福家			関雅文	
	呼吸器外科	新患・再来 診察室④	石橋直也	田畑俊治	菅原崇史	田畑俊治	田畑俊治
	循環器内科	新患 診察室①	片平美明	片平美明	山家実	山家実	中野山家
		診察室②	門脇心平	門脇心平	長谷川薫	長谷川薫	菊田寿
	再来 診察室③	宮下武彦	宮下武彦	小丸達也	中野陽夫	関口祐子	
	心血管外科	診察室④	三浦誠		三浦誠		三浦誠
	血液・ リウマチ科	新患	武田朋樹	武田朋樹	小寺隆雄	岡友美子	岡友美子
		再来 午前	小寺隆雄	小寺隆雄	竹下美紀	武田朋樹	小寺隆雄
		再来 午後	小寺隆雄	小寺隆雄			小寺隆雄
		再来 午前	岡友美子	岡友美子		岡友美子	竹下美紀
	再来 午後	岡友美子	岡友美子		岡友美子	武田朋樹	
	整形外科	新患	小澤浩司		峯岸英絵		第1.3 峯岸英絵
		(専門外来)					第2.4 館田
			<リウマチ>	<関節>	<骨粗鬆症>	<脊椎>	
			佐野徳久	佐野徳久	石塚正人	小澤浩司	
				石塚正人		館田	
	糖尿病代謝 内科	診察室①	新患 丹治泰裕	再来 丹治泰裕	新患 赤井裕輝	再来 渡辺太一	再来 赤井裕輝
診察室②		再来 渡辺太一	新患 三田貴士	再来 三田貴士	再来 赤井裕輝	再来 三田貴士	
診察室③		再来 善積信介	再来 善積信介	再来 丹治泰裕	新患 善積信介	新患 渡辺太一	
小児科		森本哲司	藤井喜充	小川英伸	森本哲司	藤井喜充	
禁煙外来	隔週	佐川元保					
神経内科	新患	中島一郎	小林理子	小林理子	藤盛寿一	中島一郎	
	再来	石垣あや	菊池大一	藤盛寿一	中島一郎	小林理子	
再来	第1.3 金子仁彦				川口典彦	菊池大一	
救急科		遠藤・大村/住友・大原	遠藤・大村/住友・大原	遠藤・大村/住友・大原	遠藤・大村/住友・大原	遠藤・大村/住友・大原	
総合診療科		山家研一郎	住友和弘	濃沼信夫	宮澤イザベル	山家研一郎	
		住友和弘	佐藤滋	大原貴裕	佐藤滋	宮澤イザベル	
		古川勝敏	宮澤イザベル		古川勝敏	大原貴裕	
2F	耳鼻咽喉科		隔週 粟田口敏一	粟田口敏一	粟田口敏一	隔週 野口角田	
			東海林史	野口直哉	野口直哉	東海林史	
		午後 松山谷幸子				高橋由紀子	
						角田梨紗子	
放射線科		小山周樹	小山周樹	小山周樹	小山周樹	<心援医師>	
歯科口腔 外科	新患・再来	細谷誠	細谷誠	細谷誠	細谷誠	細谷誠	
	口腔外科	篠原文明	午後 宮下仁	篠原文明	篠原文明	篠原文明	
泌尿器科		福崎篤	海法康裕	佐藤信	佐藤信	海法康裕	
腎臓	再来	森建文	伊藤/阿南/岩村	伊藤/阿南/岩村	伊藤/阿南/岩村	伊藤/阿南/岩村	
内分泌			新患 矢花郁子	再来 森建文	新患 森建文	再来 佐藤真一	
		再来 中村はな	新患 衣村はな	再来 中村はな	新患 中村はな	再来 中村はな	
		再来 森建文	新患 目時仁弘	再来 森建文	新患 森建文	第2.4 井樋慶一	
皮膚科	診察室①	岡昌宏	坂口正展	岡昌宏	高橋秀肇	坂口正展	
眼科	再来・午前 診察室①	高橋秀肇	多田麻子	多田麻子	高橋秀肇	西郷陽子	
	午後 再来					多田麻子	
再来・午前 診察室②	西郷陽子	西郷陽子	西郷陽子	多田麻子	多田麻子		
午後	西郷陽子	西郷陽子	西郷陽子	多田麻子	多田麻子		
精神科	新患 診察室③		西郷陽子	西郷陽子	多田麻子	多田麻子	
	診察室①(午前)	鈴木映二	丹生谷正史	山田和男	工藤耕太郎	櫻田久美	
	* → 特殊外来 (午後)	鈴木映二	山田和男	山田和男	工藤耕太郎	櫻田久美	
	診察室②(午前)	山田和男	吉村淳	鈴木映二	丹生谷正史	吉村淳	
	診察室⑤(午前)	工藤耕太郎	吉村淳	鈴木映二	丹生谷正史	吉村淳	
診察室⑥(午後)	櫻田久美	中川誠秀	中川誠秀	吉村淳	工藤耕太郎		
腫瘍内科		下平/工藤	下平/工藤	三田地泰司	下平/工藤	下平/工藤	
リハビリ	新患 再来	室谷嘉一	伊藤修	再来 室谷嘉一	再来 内海由也	再来 高橋麻子	
テーション科	リハビリ前診療	室谷嘉一	伊藤修		内海由也	高橋麻子	
産婦人科	初診	深谷孝夫	渡部洋	深谷孝夫	中西透	深谷孝夫	
	再診	喜多川亮	中西透	喜多川亮	深谷孝夫	喜多川亮	
13時~15時	再診	喜多川亮			中西透		
もの忘れ外来	新患	精神科担当医	総合診療科担当医	精神科担当医	総合診療科担当医	神経内科担当医	

※都合により担当医師が変更している場合があります。